

神奈川県立藤沢西高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 神奈川県立藤沢西高等学校 第3回 学校運営協議会
開催日時	令和8年3月17日(火) 15時00分から16時30分
開催場所	藤沢西高等学校 応接室(B)
出席者	<p>稲川 由佳(藤沢市社会教育委員会議 委員) 永吉 寛行(鶴見大学文学部教授) 大塚 真奈(湘南大庭市民センター長) 村田 登樹恵(藤沢市湘南大庭地区青少年育成協会会長) 武田 三枝(藤沢市立滝の沢中学校長) 松川 裕子(藤沢市立小糸小学校長) 植田 隆(藤沢西高同窓会副会長) 神崎 千佳(藤沢西高PTA会長)</p> <p>【学校側】 校長 普川芳昭 副校長 藤岡浩信 教頭 中嶋洋介 事務長 清水裕一 総括教諭 栗原昌広、近藤誠、小宮信、田中哉光、須田敏弘 教諭 才田哲也</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度藤沢西高等学校 学校評価報告書(実施結果) ・令和7年度第2回「生徒による授業評価」 ・令和7年度藤沢西高等学校不祥事ゼロプログラム〈年度末検証〉 ・PTA広報誌「藤沢西」144号
議事録	<p>委員からの意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時代の変化に対応した取組を感じる。情報化社会で生き抜く力を育む取組を今後さらに求められる。定期試験問題の管理等も合わせて、個人情報の管理、事故防止の徹底をお願いしたい。(永吉委員) ○探究的な思考力の育成の取組は参考になる。中学生から求められる力とを感じる。生徒にとってより快適な学校生活のためにもカウンセリング等の支援体制は不可欠である。(武田委員) ○保護者とのつながりや理解・協力が難しくなっている。相互理解は不可欠である。学校として対策をお願いする。(松川委員) ○地域の中の学校として、防災拠点としての役割を求められる。引き続き、協力体制をお願いする。(大塚委員) ○地域連携事業における生徒の主体的な動きに感銘を受けた。西高生のパワーを今後とも期待したい。(村田委員) ○学校として扱っている会計(私費会計)はどのようなものがあるのか。用途等、適切な取扱をお願いする。(植田委員) ○社会の一員として自己肯定感をもって活躍できる人材育成を期待する。学校への不安を抱える生徒等への支援をお願いしたい。(稲川委員)
有識者による評価 (第三者の視点)	<p>〔授業等の状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合的な探究の時間の指定校として、学びに向かう姿勢を育む取組を行っている。課題の設定や問いの立て方等、さらに生徒の思考力の育成を期待する。 ○生徒による授業評価を見て、学習のつまずきから苦手意識とならないよう分かりやすい授業の工夫がある。 <p>〔幼児・児童・生徒指導・支援〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒相互に学校生活での規則やマナーを考え、行動する力を育てている。学校行事を生徒自らが企画立案、運営する等、主体的に参加する態度を育成している。 <p>〔地域等との協働〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に根差した学校として、地域行事の運営や周辺の環境美化活動等、協働した活動を行っている。卒業生が引き続き地域行事の運営に関わっているところは、学校との強いつながりと思う。